

## 2022年度事業計画

### 1. 総会・理事会の開催

#### 1-1 総会を年1回開催する。

第11期通常総会 2022年5月24日(火) 14:00~15:00

#### 1-2 理事会を年2回開催する。

第22回理事会 2022年4月28日(木) 14:30~15:30

臨時理事会 2022年5月24日(火) 総会終了後

第23回理事会 2022年12月予定

### 2. 委員会の開催

#### 2-1 総合企画運営委員会を年2回開催する。

第22回総合企画運営委員会 2022年4月15日(金) 13:30~14:30

第23回総合企画運営委員会 2022年12月予定

#### 2-2 編集委員会を年6回開催する。

第61回編集委員会 2022年5月9日(月) 13:00~15:00

第62回編集委員会 2022年7月予定

第63回編集委員会 2022年9月予定

第64回編集委員会 2022年11月予定

第65回編集委員会 2023年1月予定

第66回編集委員会 2023年3月予定

### 3. 学術講演会

学術講演会を年1回開催する。

#### 3-1 学術講演会

開催日: 2022年11月15日(火)

場所: 検討中

講演概要: 各賞表彰式、受賞記念講演、一般講演を行う。

---

### 4. 研究部会活動

#### 4-1 レーザプロセス部会 (部会長 塚本 雅裕)

レーザプロセスの開発や展開に関連して、各種レーザ装置の開発とそれらを用いたレーザプロセス技術の応用展開が図られている。レーザプロセスがさらに発展するためには、レーザとプロセス技術についての知識を有するレーザ技術者と研究者が多数輩出する必要がある。そこで、部会では、ものづくりの発展に貢献するため、レーザプロセスに関連するセミナーやシンポジウム、国際会議などの情報提供を行い、技術相談などを通じて部会に所属する研究者や技術者を支援する。また、研究会の開催を検討している。

#### 4-2 アディティブ・マニファクチャリング部会（部会長 桐原 聡秀）

任意形状の2次元断面を高速作製し、積層しつつ連続的に接合することで、複雑形状の3次元構想を精密成型するプロセスとして、アディティブ・マニファクチャリングが国内外で広く活用されるようになった。理論に応じて機能を発現させる設計プロセスをはじめ、複雑パターンを高速かつ精密に得る造形プロセスや、部材パフォーマンスを試験し可視化する評価プロセスなど、各工程段階を連携しつつ知見を集める。学会員の研鑽に資するよう、研究会の開催をはじめ、学術書籍の編纂などを進める。

#### 4-3 環境・エネルギープロセス部会（部会長 井田 民男）

国際情勢による環境とエネルギーを取り巻く課題は、極めて多様化しつつある。特に、昨年末に閣議決定されたグリーンイノベーション事業は、今までにない巨大国家プロジェクトとして進められている。なかでも、エネルギーの省力化や高効率化のみならず、環境とエネルギーを同時に解決できるスマートなエネルギー開発が求められる。本部会では、再生可能エネルギー等のバイオマスを原料とする新固形燃料（半炭化固形燃料、バイオコークス等）の社会的な普及とその開発を先導する。

また、高度な熱エネルギーの利活用を目指す、科学的な現象解明や先進装置等の研究開発を先導する。

さらに、産業界が抱える課題、社会が抱える問題に積極的に取り組み、産官学による複合的かつ専門領域を融合できる学術的な仕組みを形成し、横断的な支援を行うため、コンソーシアムを構築し、相互の情報交換を活発化する。特に、セミナー及び勉強会を開催し、さらに論文特集号をオーガナイズする。

#### 4-4 エレクトロニクス生産科学部会（部会長 加柴 良裕）

エレクトロニクス製品に関して、「もの創り」に役立つ生産プロセス・システムを構築することをめざし、科学的な基本原理に基づくアプローチによって「ものの流れ」と「情報の流れ」を有機的に結びつけ、素材を活かす設計・加工、加工プロセスを考えた設計、設計に活きる加工、といった「統合エンジニアリング」の立場から、新しい「もの創り」技術の創出・展開を支援する。そのために、研究委員会やシンポジウムなどの開催を始め、学会誌やHPによる関連研究開発情報の発信、セミナーによる技術者育成を積極的に行う。

### 5. 表彰事業

2021年度中に発刊した学会誌の論文、解説のうち、特に優れた論文に対し、論文賞を、優れた解説に対し、Best Review Paper 賞を授与。また2022年度学術講演会において、優れた発表に対し、学術奨励賞および技術奨励賞を授与する。

### 6. 学会誌発行事業

編集委員会で学会誌発行に関する企画・立案を行い、学会誌（隔月刊）第11巻第3号から第12巻第2号まで年6回の発行を行う。

### 7. 内外の学術団体との連絡・提携

国際及び各国の高温から低温並びに重厚長大から軽薄短小に至る広範囲の製造及び接合などにおける先進的及び環境・エネルギーを配慮したスマートプロセス関連に関する諸団体との連絡及び提携、国内関係学術団体との連絡及び提携を行う。